

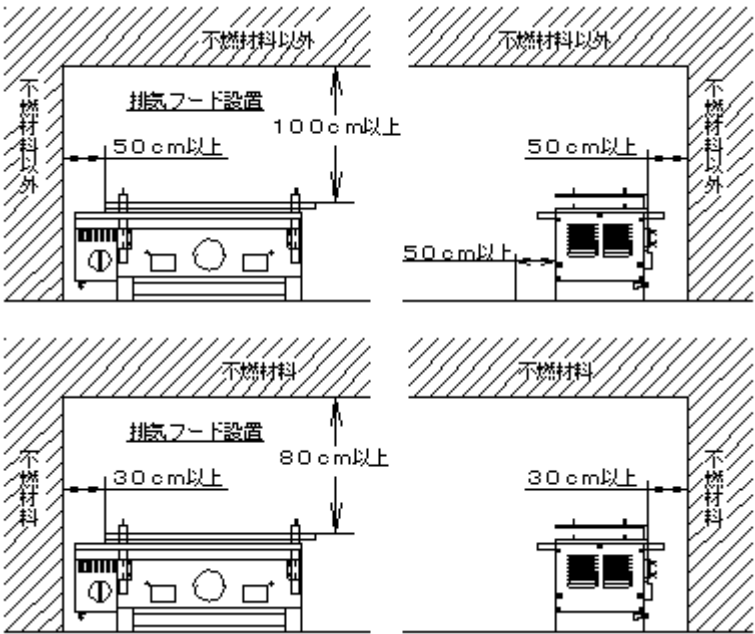
取扱説明書改訂のご案内

総務省消防庁において対象火気省令に新たに、炭焼き器具など固体燃料を使用した厨房設備の離隔距離が示されました。これに伴い各自治体の火災予防条例にも同様に示されています。（令和6年1月1日施行）
弊社でも対象製品（S-610、S-910）の取扱説明書4ページ記載の離隔距離に関する内容を改訂いたします。
なお、火災予防条例の運用は各自治体で異なるため所轄の消防署に相談し、適切な離隔距離を確保したうえで設置してください。

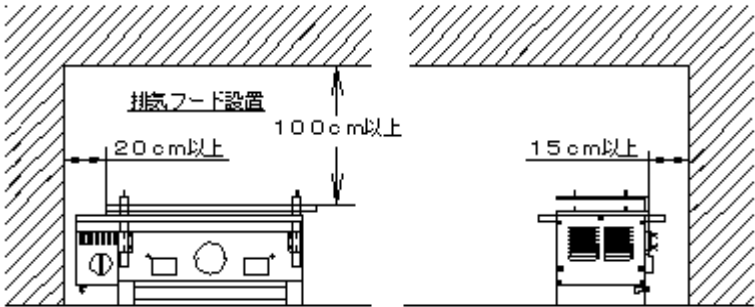
記

改訂後

火災予防条例(例) 別表第三	上方(cm)	側方(cm)	前方(cm)	後方(cm)
周囲の壁等が不燃材料以外	100	50	50	50
周囲の壁等が不燃材料※1)	80	30	－	30



改訂前

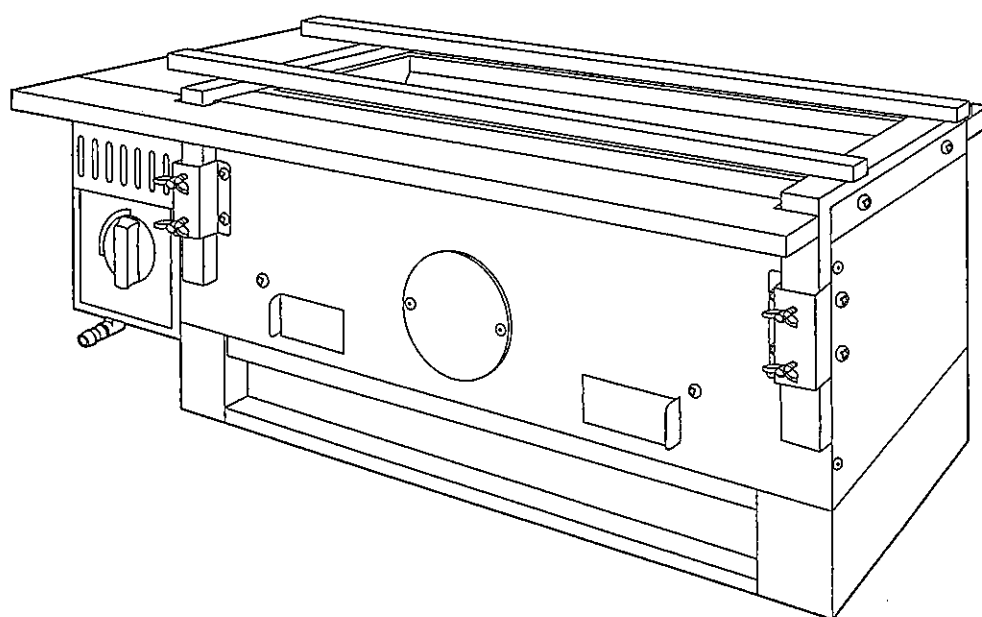


以上

取扱説明書

業務用
炭焼器 赤鬼一家

品番	S-610
	S-910



家庭用には使用しないでください

このたびは、シルクルーム業務用 炭焼器を、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
製品を末永く安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに保管しておいてください。

目 次

□ 《ご使用のまえに》 《安全に正しくお使い頂くために》	2
■ 表示と意味	
■ 絵表示について	
□ 特に注意していただきたいこと	3～5
■ ガス漏れの処置	
■ 使用ガスについての注意	
■ 火災注意	
■ 火災予防	
■ 異常時の処置	
■ 換気について	
■ 注意—使用上の注意	
■ お願い	
□ 各部の名称と仕様	6、7
■ 各部の名称	
■ 消耗品	
■ 仕様表	
□ 設置について	8
■ 設置前の準備	
■ 設置方法	
■ 設置場所	
□ ご使用方法	9
■ ご使用前の準備	
■ 操作のしかた	
■ 火力の調節	
■ ご使用上の注意	
■ 停電時のご使用方法	
□ 日常の点検・お手入れ	10
■ 点検・お手入れの際の注意	
■ 点検	
■ お手入れ	
□ 故障・異常の見分け方と処置方法	11
□ 長期間使用しない場合	11
□ アフターサービスについて	12
■ サービス(点検・修理など)を依頼される前に	
■ 転居される場合	
■ 保証について	
■ 消耗品	
■ 補修用性能部品の最低保有期間について	
■ 連絡先	
□ 保証書	13

■ 《ご使用のまえに》 《安全に正しくお使い頂くために》

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を安全に使用していただきお客様や他の人々の危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■表示と意味

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度を3つに区分しています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合」が想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡または重傷を負う可能性」が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が傷害を負う可能性」が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

■絵表示について次のような意味があります。

	一般的な注意	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	火災注意	この絵表示は、火災に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	火気禁止	この絵表示は、火気を使ってはいけない「禁止」内容です。
	高温注意	この絵表示は、高温に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	一般的な禁止	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	触手禁止	この絵表示は、手でふれてはいけない「禁止」内容です。
	必ず行う	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

▣ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

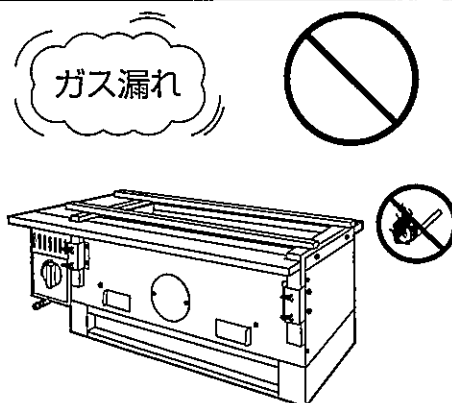
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ① すぐに使用をやめ、機器の器具栓とガスの元栓を閉じて下さい。
- ② 窓や戸を開けガスを外へ出して下さい。
- ③ お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。



⚠ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板（機器右側面に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。転居したときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。



不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。

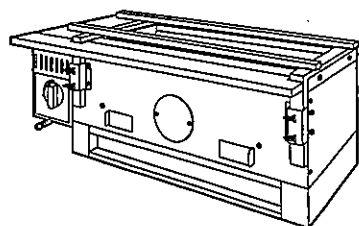
例：都市ガス 12A、13A の場合

品番：S-910-02	
形式名：S-910	
都市ガス 12A、13A 用	
ガス消費量 12A	3.49kW
13A	3.60kW
00.00-000000	
山岡金属工業株式会社	
業務用	

■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。機器の周囲にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。



■ 火災予防

火をつけたまま放置しない。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

■ 火災予防

機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。



焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

▣ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告

■ 火災予防

空焚きは絶対しない。
水は水槽の約 7 割程度は入れて下さい。
空焚きになりますと水槽に溜まった油に引火し危険です。



■ 火災予防

不安定な場所や新聞紙やビニールシート等可燃物を敷いて使用しない。

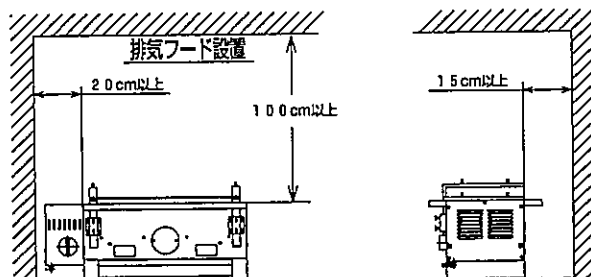
焦げたり、燃えたりして火災の原因となります。



火災注意

■ 火災予防

設置や移動の際、可燃性の部分（家具や壁・棚など）から下図寸法を守って設置する。また、機器の上方には排気フード付排気筒を設置する。



■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音が感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずにガスの器具栓及びガスの元栓を閉じて使用を中止する。

故障・異常の見分け方と処置方法（11 ページ）に従って下さい。

ガス栓を閉じる



■ 換気に注意

窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をする。

不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。



⚠ 注意

■ やけどに注意

使用中や使用直後は、高温部（鉄久・炭コンロ・バーナ等）には触れない。



機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合はやけどに注意して下さい。

■ 機器に水をかけない

機器を水につけたり、水をかけたりしない。



不完全燃焼や故障の原因になります。

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

■ 大量に炭をおこさない（入れない）

他の調理器の為に炭の火おこしを行わない。



多量の炭を繰り返し火おこしすると、機器および付属部品が変形し、故障の原因となります。

■ 機器に衝撃を与えない

機器でたたいて炭を割らないでください。



機器が変形して故障の原因となります。

■ 調理目的以外で使用しない

調理専用機器ですので調理以外の用途には使用しない。



火災注意

過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 調理目的以外で使用しない

衣類の乾燥などに使用しない。



衣類が落下して火災になることがあります。

■ 使用上の注意

ゴム管の継ぎだし、及び二又分岐はしない。



ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

■ 使用上の注意

ゴム管は、ときどき点検して取り替える。



古くなると、ひび割れや差込み口がゆるくなってガス漏れの原因となります。

■ 使用上の注意

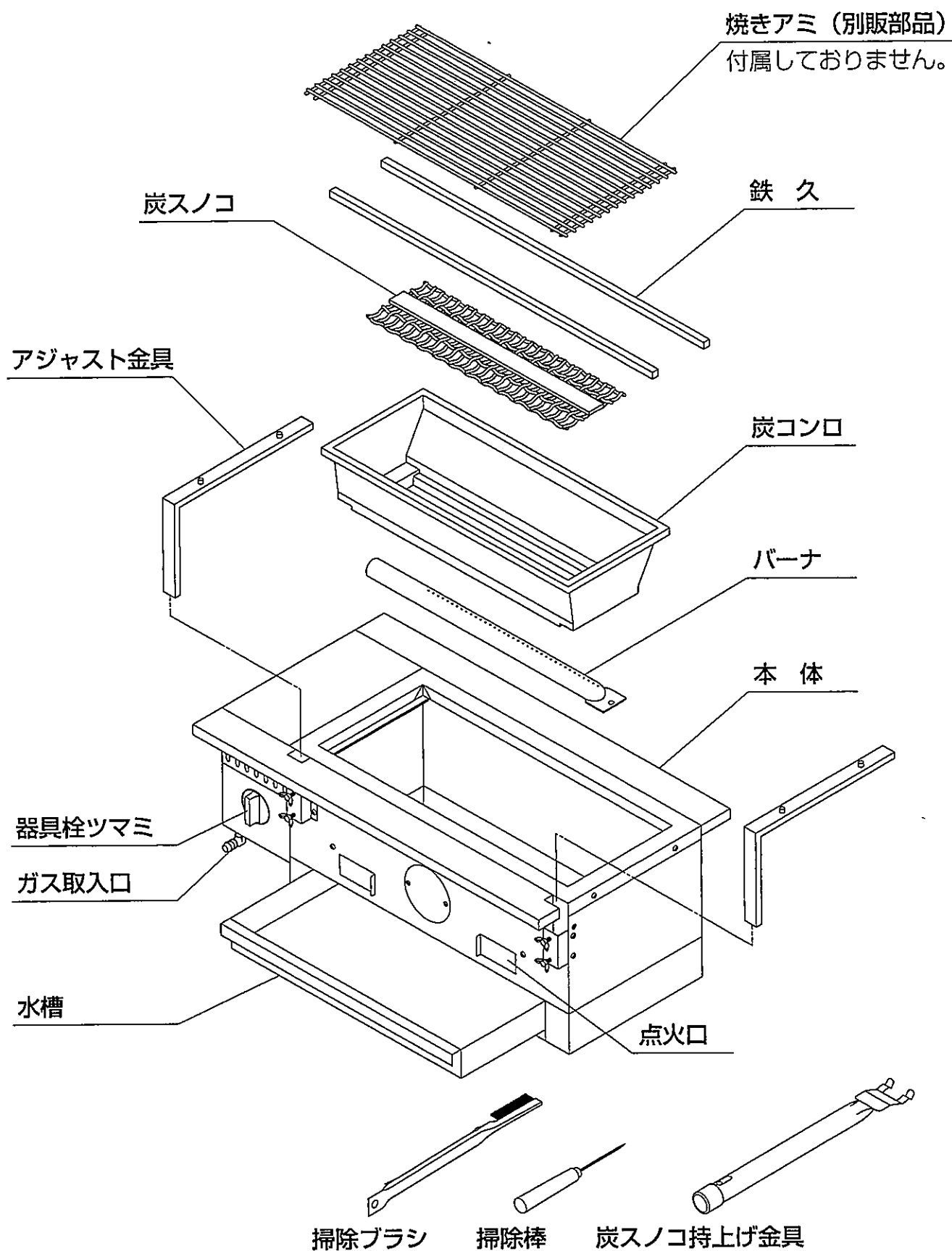
- ・ 補助具はこの機器の付属品以外は使用しないで下さい。

お願い

- ・ 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめて下さい。
- ・ 使用後は消火を確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。
- ・ 炭に火がついたらガスは止めて下さい。

■ 各部の名称と仕様

■ 部品図



■ 各部の名称と仕様

■ 消耗品

次の部品は消耗品です。保証期間中でも有償となります。

●バーナ ●炭コンロ ●炭スノコ ●鉄久 ●焼きアミ（別販部品） ●掃除ブラシ ●掃除棒

■ 仕様表

記 載 事 項	記 載 内 容	
製 品 名	業務用 炭焼器 “赤鬼一家”	
形 式 の 呼 び	S-610	S-910
着 火 方 式	マッチ着火方式	
空 気 調 節 器	固定式	
ガ ス 接 続 口	9.5mm ゴム管用自在ホースエンド	
外形寸法 (標準品) (mm)	W 600 × D 330 × H 250	W 900 × D 330 × H 250
質 量 (標準品)	約 15kg	約 20kg

形 式	使用ガス 使用ガスグループ		1 時間あたりのガス消費量	ガス接続
S-610	ガ ス 都 市	13A	2.44kW(2100kcal/h)	9.5mm
		12A	2.33kW(2000kcal/h)	
		L1	2.56kW(2200kcal/h)	
	LP ガス		1.95kW(0.14kg/h)	
S-910	ガ ス 都 市	13A	3.60kW(3100kcal/h)	ホースエンド
		12A	3.49kW(3000kcal/h)	
		L1	3.49kW(3000kcal/h)	
	LP ガス		4.19kW(0.30kg/h)	

■ 設置について

■ 設置前の準備

- ・ 機器をダンボールから取り出し、包装部品を全て取り除き、付属品を確認して下さい。

■ 設置方法

- ・ 機器の設置、移動及び付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して下さい。

■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けて下さい。火災になることがあります。



- ・ 強い風の吹き込む所を避ける。風で吹き消されたりする場合があります。



- ・ 安定のよい丈夫で水平な台の上に設置する。不安定な所や傾いた所に設置すると機器が傾いてやけどやけがをすることがあります。



- ・ ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く、また器具の下を通さない。



■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

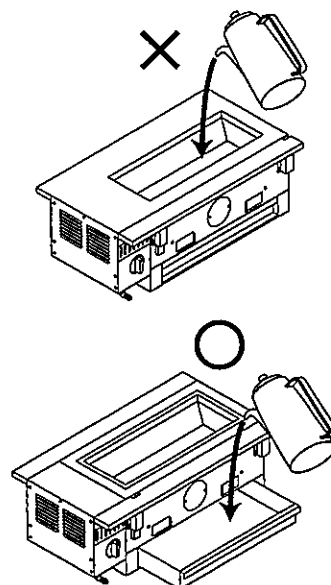
- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認
※バーナの取り付けには充分注意して下さい。
(炎口を上側にして取り付けして下さい。)
- ・ 器具栓ツマミが「閉」の位置であることの確認
- ・ 機器および機器周辺の確認
- ・ 水槽に水を約 (S-610は2.7リットル・S-910は5.0リットル) 入れて下さい。
- ・ 使用中は水が減ってきますので水量に注意し、随時水を補給して下さい。
- ・ 器具本体の上から水槽へ水を入れないで下さい。(バーナの炎孔に水がかかり、目づまりして着火しないことがあります。また、ガスが逆流し操作部内を焼損する恐れがあります。)

※換気をして下さい。

※炭を準備します。

S-610 : 1.0kg

S-910 : 1.5kg



■ 操作のしかた

- ① 炭コンロに炭を入れます。(炭コンロの深さの半分ぐらいが目安です。)
- ② ガスの元栓を開けます。
- ③ 点火は、器具栓ツマミを押しながら「閉」から「開」の方向へいっぱい回し、点火棒 (ガスライター) 等で点火口からバーナに着火して下さい。
- ④ 炭の火起こし中は器具栓ツマミを全開にして使用して下さい。
- ⑤ 消火は、器具栓ツマミを「閉」の位置にして「カチッ」と音がするまでもどし、消火したことを点火口から確認して下さい。

■ 火力の調節

- ・ 炭の量で火力を調節して下さい。
- ・ アジャスト金具の高さを調節して、お好みの火力でご使用下さい。
- ・ 付属のガスバーナは炭の火起こし用ですので、全開でご使用下さい。特に火力調節は必要ありません。

■ ご使用上の注意

- ・ 使用中は、水槽の水を時々確認し、空炊きにならない様に注水して下さい。
※空炊きを起しますと機器の性能が低下し故障 (水槽の変形等) の原因になります。
※本体で炭を割らないで下さい。機器の故障ややけどの原因となります。

■ 停電時・災害時のご使用方法

- ・ ご使用中に万一停電・災害が起こった場合、器具栓ツマミを「閉」の位置にし、ガスの元栓を閉じておいて下さい。停電復旧後は、通常の点火操作を行って下さい。

■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検及び定期清掃は必ず行って下さい。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは必ず行って下さい。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないで下さい。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談下さい。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、機器が冷えてから行って下さい。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意して下さい。
- ・ 機器内部をお手入れされる場合は手袋を着用し行って下さい。各部品の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意して下さい。

■ 点 検

- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめて下さい。
- ・ バーナ及びその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめて下さい。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがないか確認して下さい。
- ・ ゴム管に破損や不具合など異常がないか確かめて下さい。

■ お手入れ

- ※ お手入れは出来るだけ機器が冷めた状態で行って下さい。
やむおえず高温の状態でお手入れを行う場合は、耐熱手袋等で各部品を取り出し、特に炭スノコは付属の持ち上げ金具で取り出して下さい。

- ・ バーナは必ず清掃して下さい。

バーナ表面は付属のブラシで清掃し、炎孔は付属の掃除棒で清掃して下さい。

炎孔清掃後はバーナ内部にごみが溜まりますので、入り口を下にして、バーナ表面を軽くたたいて、内部のごみを取り出して下さい。

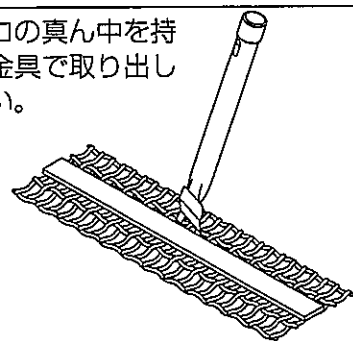
※バーナの入り口を直接たたかないで下さい、変形して装着出来なくなります。

- ・ 炭スノコは使用前に必ず清掃して下さい。

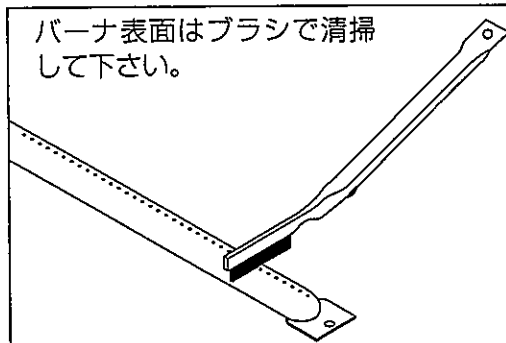
炭スノコの線材の間が詰まると炭の火起こりが悪くなりますので、付属のブラシで清掃して下さい。

- ・ 水槽は油汚れが多くなると不衛生になり、火災発生の原因にもなりますので、1日に1度中性洗剤で洗浄して下さい。

炭スノコの真ん中を持ち上げ金具で取り出して下さい。

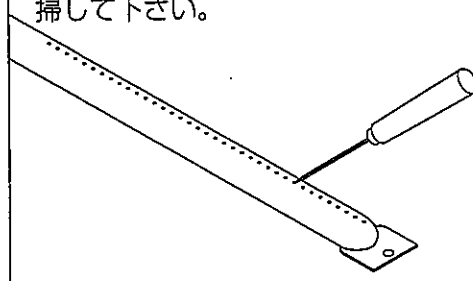


バーナ表面はブラシで清掃して下さい。



- ・炭コンロは付属のブラシで清掃して下さい。
 - ・鉄久・焼きアミは 1 日に 1 度中性洗剤で洗浄して下さい。
 - ・機器表面・内部は手袋をして 1 日 1 度、布切れで清掃して下さい。
- 油や炭化物が激しく付着すると取れなくなりますので、早めに清掃して下さい。

バーナの炎孔は清掃棒で清掃して下さい。



■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原 因	現 象										処 置 方 法
	ガスの臭いがする	点火しない・点火しにくい	着火・火移りしにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛ぶように燃える	異常な音をたてて燃える (バックファイヤー)	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない	使用中に炎が消える	
ガスゴム管接続が不完全	○										ガスゴム管の接続を確実にする
ガス元栓の開きが不十分		○	○								ガス元栓を全開にする
LP ガスがなくなりかけている		○	○	○			○		○	○	新しいボンベと交換する
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
器具栓ツマミの開き不足		○	○				○			○	器具栓ツマミを一度「閉」に戻してから再び点火操作を行う
バーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○		○	○		バーナを正しく取り付ける

■ 長期間使用しない場合

■ 長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガスの元栓を閉じ、保管して下さい。

■ アフターサービスについて

■ サービス(点検・修理など)を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に 11 ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡下さい。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
 - ① 製品名・製品番号(銘板に表示のもの)・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象(できるだけ詳しく)
 - ④ 製品購入日・訪問希望日

■ 転居される場合

- ・ 転居によってガスの種類が変わる場合があります、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ず買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご連絡下さい。また、このときに要する費用は有料です。

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、買い上げ日より「1 年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障
- ※ 修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。(7 ページを参照)

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ 業務用炭焼器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 5 年です。

■ 連絡先

- ・ 業務用炭焼器をお使いになった上で、なにかご不明な点や不具合な点がございましたら、買い求めになった販売店か当社へ連絡して下さい。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001:2004(本社)／ISO9001:2008 認証取得

本 社／〒570-8585 大阪府守口市東郷通り2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店／〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。